

## インフルエンザについて専門医師に聞く

富山労災病院

勤労者呼吸器センター長 武内浩一郎 第1回

”被害をくいとめるための一人一人の心がけ、リスクの高い人は特に注意を”



本年4月、アメリカ、メキシコを中心に新型インフルエンザが発生、またたくまに世界各国に広まりました。我が国においても、成田空港の検疫強化（水際作戦）をかいめぐり、5月10日に大阪の府立高校生が国内発生第一例目として報告されたのを皮切りに、各県に広まり連日新聞を賑わしました。その後、今回の新型インフルエンザは弱毒であるという認識、夏場には一度収まり流行するのは冬であろうとの見通しが広まり、油断が生まれました。予想に反し8月にはいり流行が急速に拡大、集団感染、重症者、死者の報告が相次いでいるのはご承知の通りです。

新型インフルエンザが例年の季節性インフルエンザと違う点は、誰もが免疫をもっておらず、莫大な患者が幅広い年齢層で発生することです。例年の季節性インフルエンザでも、高齢者を中心に肺炎を併発し多数の死者が発生、学校休校、企業活動の妨げも含め、社会的被害は莫大です。新型インフルエンザでは、同様あるいはそれ以上の膨大な被害が予測されます。

高齢者はもちろんのこと、妊婦、透析を受けている人、糖尿病や心臓病、肺気腫や喘息など慢性の呼吸器の病気を持っている人は特に注意を払う必要があります。又、そうでない人も、一人一人が十分な対策をとることが、社会全体の被害を最小限度に食い止めることにとっても役立つのです。

難しいことはありません。うがい、手洗いを励行し、過労や不規則な生活をさげ、感冒症状がでたら直ちに学校や職場を離れマスクをして医療機関を受診することです。リスクの高い人は、感染している恐れのある人に極力接触しないよう注意を払い、医療機関の受診も一層迅速にすべきです。又、簡易インフルエンザ検査が陰性にでも再検査で陽性になる人がいます。

検査が陰性でも安心せず、発熱者は学校、職場を離れ、発熱が下がってから最低二日間は自宅で待機し、集団生活やリスクの高い人への接触を避けて下さい。小さなお子さんでは脳症の早期発見が大切です。意識がぼんやりしてきたり、おかしい言葉や行動があればすぐに医療機関に連れて行って下さい。

ご質問やご相談は地域医療連携室までまた、富山労災病院ホームページもご覧ください



発行：独立行政法人労働者健康福祉機構  
富山労災病院 地域医療連携室  
〒937-0042 魚津市六郎丸 992

Tel：0765-22-1354  
Fax：0120-935-681（フリーダイヤル）

### 富山労災病院からの逆紹介について

富山労災病院は地域の医師の先生方と連携を行っております。病状が落ちついた方を地域の医師の先生方に紹介して治療していただいております。ご希望の方はお申し出ください。

# 専門医紹介 消化器内科



富山労災病院 消化器科副部長 八木 満 (やぎ みつる)

「内視鏡を受けたいけれど…」という皆さまの声に尋ねてみました。

—上部消化管検診 Q アンド A—

**Q. 胃の検診で内視鏡を受けようと思いますが恐いです。**

**受ける際の工夫はありますか？ (50歳代、男性)**

**A.** 内視鏡を受ける緊張感はとても大きいと思います。受けられた場合、「何ともなかった」から「とても苦しかった」まで千差万別です。この違いとして、術者の違いもありますが(笑)、受けて頂く方の工夫によっても大分違うと言われています。コツとして、全身の脱力、口を「パカーっと」開ける、息は鼻から吸って口から「ため息」をつくようにして吐く、唾液は垂れ流す、ゲップや咳にもあわてない、があります。これだけでも前回より楽にできた、思ったより大丈夫だったとの御感想を聞く事が出来ます。もちろん、内視鏡は異物ですので、全く何ともないという訳にはいかないとはいいますが、術者・受検者双方の工夫によって苦痛の少ない検査になればと思います。

## 富山労災病院 高度医療機器の紹介

今回は**高性能 CT**です。

### 10月1日 最新の高性能 CT が入りました

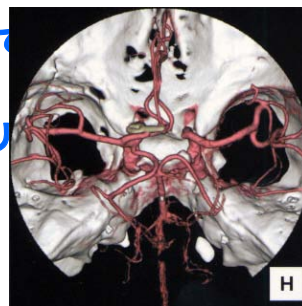
この装置では、10秒程度息を止めるだけで、胸からお腹全体の検査が一度に撮影が行えます。また、今までは心臓カテーテル検査をしなければ分からなかった心臓の血管の様子が、この検査だけでも分かるようになりました。



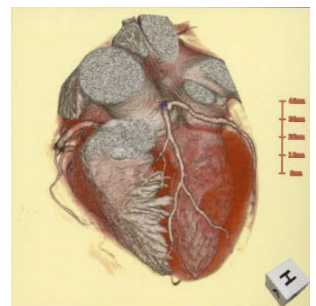
とても体に優しい検査です。

新しい装置では、**骨や血管の様子が立体的できれいな画像で詳しく見ることもできます。**

短時間に全身どこでも検査が可能になり**緊急時の病気の診断に役立ちます。**



脳血管



心臓血管

お問い合わせ:富山労災病院

地域医療連携室 TEL:(0765)22-1354

FAX:0120-935-631

までお気軽にどうぞ!

## 専門外来の紹介

物わすれ外来:(月)(木)午前10時~12時

頭痛外来:(火)(木)(金)

午前11時~112時

しびれの外来:(月)~(金)午前9時~12時

関節外来:(月)~(水)午前9時~12時

腰痛外来:(水)午後1時30分~4時

リウマチ外来:(火)午前9時~12時

尿失禁外来:(水)午後1時30分~3時